

# はじめに

学校教育は、社会と切り離された存在ではなく社会とともにあります。これからの時代においては、グローバル化や急速な情報化、技術革新などが進み、Society5.0と言われる社会を見据えて、子どもたちが予測困難な未来社会で主体的に活躍できるために必要な資質や能力を育てていくことが大切です。

県教育委員会では、平成21年に策定した第1期群馬県教育振興基本計画から、「たくましく生きる力をはぐくむ」という基本目標の下、子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」の育成に取り組んで参りました。その取組の一つとして、平成24年に群馬の子どもたちの「生きる力」の育成につながる伸ばしたい資質や能力を確実に身に付けてもらうための指導資料「はばたく群馬の指導プラン」、続いて、平成26年に「はばたく群馬の指導プランー実践の手引きー」を作成・配布し、子どもたちの「なぜ」「わかった」「面白そう」といった疑問や気づきを基に、学習意欲を高め、自ら課題を発見し、他者と協働しながら課題の解決を図るといった学習を推進して参りました。

このような中、平成29年3月に改訂された学習指導要領では、学校で学んだことが明日や将来につながるように、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視し、「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」を偏りなく実現できるようにするため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが示されました。県教育委員会としては、これは新しいことではなく、今まで各学校で取り組んできた「はばたく群馬の指導プラン」を基にした授業づくりをさらに進化させていくことと考えています。また、今回の改訂にあたっては、これまでの学校教育の蓄積を生かし、子どもたちの学習の質を一層高める授業改善を進めていくことが重要とされています。そこで、従来の「はばたく群馬の指導プラン」を加筆・改訂し、「はばたく群馬の指導プランⅡ」を作成・配布することといたしました。

子どもたちが学校で過ごす時間の多くを占めるのは学習の時間です。県内全ての子どもたちが学習を通して、自己の成長の喜びを感じられるようにしていくことが、楽しく充実した学校生活を送ることにつながります。先生方には、この「はばたく群馬の指導プランⅡ」を参考に、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう授業力を高めていただければと考えております。学校教育を通して、全ての子どもたちが、「たくましく生きる力」を育み、未来に向けて大きく羽ばたいてくれることを願っています。

結びに、本冊子を作成するに当たり、御尽力いただいた各市町村教育委員会及び関係各学校の皆様に深く感謝申し上げます。

令和元年8月

群馬県教育委員会  
教育長 笠原 寛